気象庁
Japan Meteorological Agency

報　道　発　表

令和元年 10 月 2 日
気　　象　　庁

台風に関するハイレベル東京会議の開催

～　「台風から命と財産を守る 10 年ビジョン」を描きます　～

北西太平洋域の台風情報を地域内の各国に提供する「熱帯低気圧 RSMC 東京センター」の運用を、気象庁が開始して 30 年になることを記念して、東アジア各国の気象局長官等を招聘し、10 月 10 日（木）と 11 日（金）に「台風に関するハイレベル東京会議」を開催します。

今後 10 年間で台風による災害リスク及び損失を大幅に削減するべく、これまでの 30 年間の台風防災の成果を振り返りつつ今後に必要な取組を検討し、10 年ビジョンとして世界に発信します。

世界気象機関（WMO）は、熱帯低気圧（台風・ハリケーン・サイクロン等）の監視、命名、解析・予報の発表、研修等を実施する熱帯低気圧地区特別気象センター（RSMC）を設置しています。気象庁は、1989 年より北西太平洋の「熱帯低気圧 RSMC 東京センター」を運営してきました。

この東京センターの運用が 30 周年を迎えることから、これを記念して「台風に関するハイレベル東京会議」を開催します。会議は、同センターの情報を国内の台風情報や防災対応に活用している東アジア各国の気象局長官等、世界の熱帯低気圧地域センターの所長等、国内関係機関の関係者等が参加して行い、30 年間の成果を振り返りつつ、今後 10 年の台風防災に必要な取組を検討し、10 年ビジョンとして世界に発信することを予定しています。

また、11 日（金）夕刻には、クロージングイベントとして、「東京センター運用開始 30 周年記念式典」を開催する予定です。

〔日時〕令和元年 10 月 10 日（木）～11 日（金）
〔場所〕帝国ホテル（東京都千代田区）
〔プログラム〕別紙１の通り
〔参加者〕別紙２の通り

問合せ先：総務部 企画課 国際室　太原、長谷川
予報部 予報課 アジア太平洋気象防災センター　永戸、五十嵐
電話 03-3212-8341（内線 2230・3148）

別紙１

「台風に関するハイレベル東京会議」プログラム（予定）

①　台風に関するハイレベル東京会議

日　時：　10 月 10 日（木）8 時 45 分 ～ 11 日（金）16 時 30 分
場　所：　帝国ホテル　桜の間（4F）
式　次：　開会
　　基調講演
　　RSMC 東京、内閣府（防災）、国土交通省、東京都
　　各熱帯低気圧 RSMC
　　テーマセッション「情報の伝え方」
　　テーマセッション「人材育成・普及啓発」
　　成果文書の検討
　　閉会
補　足：　報道機関へ公開

②　熱帯低気圧 RSMC 東京センター 30 周年記念式典（東京会議クロージングイベント）

日　時：　10 月 11 日（金）17 時 00 分 ～ 18 時 30 分頃
場　所：　帝国ホテル　桜の間（4F）
式　次：　開会
　　来賓挨拶
　　世界気象機関（WMO）事務局長挨拶
　　気象庁長官による「東京会議」の成果報告
　　閉会
補　足：　報道機関へ公開

別紙２

「台風に関するハイレベル東京会議」出席機関（予定）

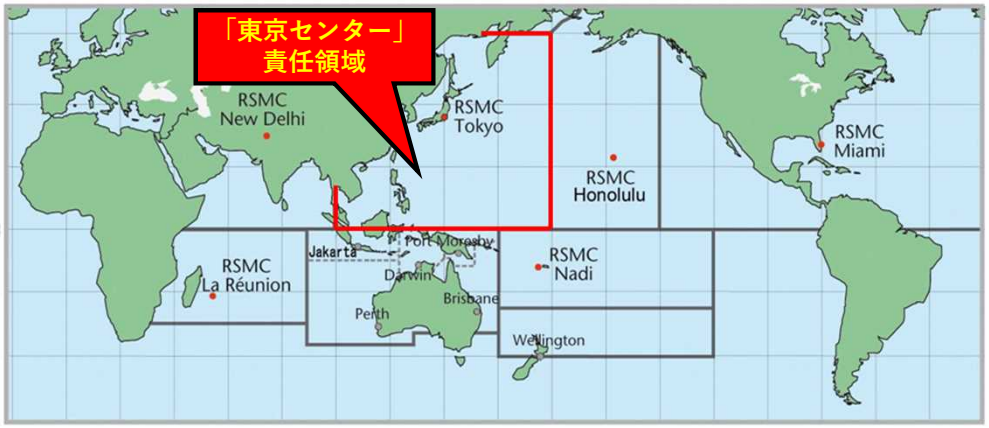
	機関名
気象局	カンボジア気象局 中国気象局 香港天文台 気象庁 マカオ地球物理気象局 ラオス気象水文局 マレーシア気象局 フィリピン大気・天文地球物理庁 韓国気象局 タイ気象局 米国海洋大気庁・気象局 ベトナム気象水文局
地域センター	RSMC ホノルル（米国海洋大気庁・気象局） RSMC ラ・レユニオン（フランス気象局） RSMC マイアミ（米国海洋大気庁・気象局） RSMC ナンディ（フィジー気象局） RSMC ニューデリー（インド気象局） RSMC 東京（気象庁）
国際機関	世界気象機関 国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）/世界気象機関（WMO）台風委員会
国内関係機関	内閣府（防災） 国土交通省 東京都 日本放送協会（NHK）

【参考】「熱帯低気圧RSMC東京センター」について

気象庁 Japan Meteorological Agency

【設置】

- 熱帯低気圧地区特別気象センター（RSMC）は、世界気象機関(WMO)における熱帯低気圧（台風・ハリケーン・サイクロン等）に係る国際センター。世界に６カ所設置。
- 気象庁は、1989年より北西太平洋域の「熱帯低気圧RSMC東京センター」を運営、今年で運用開始30周年。



世界に６つある「熱帯低気圧RSMC」と責任領域
(RSMC: Regional Specialized Meteorological Center)

【役割】

- 東京センターは、台風の監視、命名、解析・予報の発表、研修等を実施。
- 東・東南アジア各国は、東京センターが発表する情報を元に、国内の台風情報の発表や防災対応を実施。

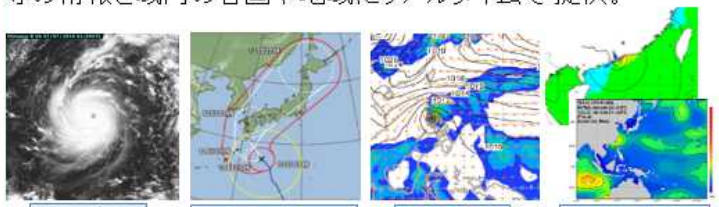
【実績】

- 東京センターは、30年間で700個以上の台風の情報を発表。
- 情報の精度向上にも努め、この30年で台風の進路予報(24時間先)の精度は100km以上改善。
- 各国の予報官延べ300名以上に研修を実施。各国の技術力向上にも貢献。

「熱帯低気圧RSMC東京センター」の活動

台風解析・予報等の即時情報の提供

台風に関する解析や予報、予報の根拠、数値予測、気象衛星等の情報を域内の各国や地域にリアルタイムで 提供。



台風に関する情報の提供及び技術協力

台風の事後解析、毎シーズンの台風の特徴、予報評価等の情報を提供、国際的なセミナーや研修を実施。

世界気象機関（WMO）とは：
　国際連合の専門機関の１つで、事務局本部はスイスのジュネーブ。世界の気象事業の調和的発展を目標とした国際計画の推進・調整を行うため、 1950年に世界気象機関条約に基づいて設立。
　国際的な標準化と改善および調整、並びに各加盟国・地域間における気象情報・資料の効率的な交換の奨励を主な業務としており、2019年１月現在、186カ国と６領域が構成員として加盟。